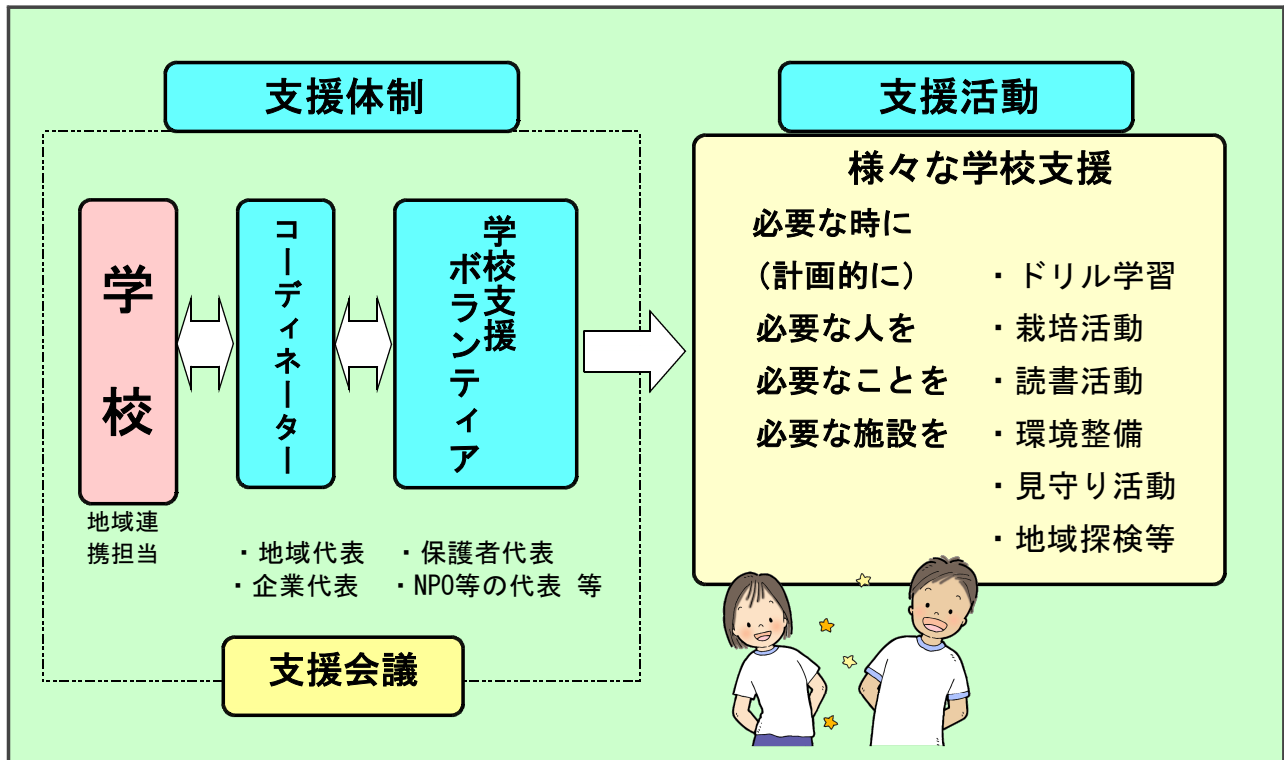
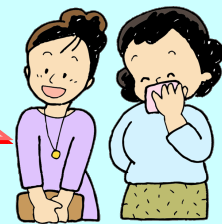


学校を支援する仕組み(例)



「地域とともにある学校づくり」への思い

「子どもの頃と比べると、この辺りもずいぶん変わったわね。」
 「そうね。昔は、子どもたちが大勢でよく遊んでいたわね。」
 「今は外で遊ばせるのも心配で・・・。」
 「そうなると、一人でゲームしたりしているのかしら。」
 「そうね・・・。」
 「みんなで、感動や喜びを感じられたらいいのに。」
 「私もそう思うわ。」
 「それなら、私たちにもできることがあるんじゃないの。」
 「そうよ。地域の子どもは、地域で育てるの！」
 「学校に任せるだけでなく、私たちもずくを出してね。」
 (元PTA役員)



「今も昔も、子どもたちって元気だね。」
 「そうだね。でも最近ちょっと気になることもあるんだよ。」
 「どんなこと？」
 「自分の良さに気づいていなかったりすることかな。」
 「そうか。そういえば、友達のことでも悩む子どもが多くなったような気がするね。」
 「確かにそうだね。でも、どうすれば子どもたちが明るく学校生活を送れるかな。」
 「私たちもがんばっているけど、どうだろう地域の皆さんとも一緒に考えてみないか。」
 「そうだね。」
 (中学校教員)